

物部川清流保全推進協議会部会「こどもたちへの環境学習を進めるWG」要旨(第2回)

日 時：平成22年11月29日 13:00～15:00

場 所：のいちふれあいセンター 香南市野市町西野 534-1

内 容

1. 事務局より、前回（1回目）の議事録要旨の説明
2. 今回（2回目）の協議事項である「学校における環境学習をどう進めていくか」「川で遊べる、川とふれあえる場・機会をどう創っていくか」について、各出席団体より発表を行った。

〈南国市(学校教育課)〉

- ・環境をテーマにした授業は、総合学習の授業で3,4年生は年間70時間ある。(事前・事後学習、移動を含めて時間がかかる。)
- ・水遊びの学習とあわせて、物部川の危険性も教えていく必要がある。
- ・国分川で学習をやっているの、物部川へ繋げていければ。
- ・大篠小学校では近くの川、水路を使用して学習を実施している。

〈香美市(学校教育課)〉

- ・物部川漁協からアユの一生の学習の提案を受けたことがある。他の団体でも、環境学習でこういっ
たことができるという情報があればありがたい。
- ・環境学習を授業で組み込む場合は、年度途中でもカリキュラムの変更は対応可能。

〈四国森林管理局〉

- ・小学校を中心に森林教室、木工教室を実施している(年間20～25回)。出前授業の一覧表は作
っていないが、電話相談は可能。土・日の実施もOK。
- ・出前授業を申し込む際は簡単な依頼文書をもっている。(1週間前までには)

〈国交省〉

- ・水生生物調査を年2回とあわせて水質のパックテストを実施している。パックテストは下級生より
5、6年生を対象にしたいが、対象を絞ると参加者が少なくなってしまう。(今は3,4年生が主に
参加)
- ・環境学習に参加していただけたところをさがすのに苦慮している。

〈香南市〉

- ・夏に環境学習バスツアーを実施した。土日は行事があるので、夏休みの平日に開催したところ参加
が多かった。
- ・PTAへの声かけ、協力依頼が必要。
- ・社会見学(学習)に今後は川を組み込む必要もある。
- ・学童の行事にも潜在的なニーズはあると思う。

〈香美市〉

- ・ゴミの分別や処理場見学の学習を実施している。
- ・県民会議の取り組みで紙芝居を使った環境学習を予定していると聞いたが・・・。

〈21世紀森と水の会〉

- ・水質のパックテストも紙芝居風にしてみれば、やり方が分かり易いのではないか。
- ・子どもたちには川の中を覗かして、石をはぐったり、石に泥がついている状況を見せながら
も大事。
- ・最初は小さな水路を利用するなど身近な場所を活用して子どもたちに教えてあげる。
- ・住友共同電力・公営企業局では水力発電所の見学も実施している。

- ・農協と連携して香我美小では、かき、ミカン取りなど食べ物を組み入れた環境学習。
- ・夜須中では梶が森で間伐体験、木工教室。
- ・香長小では炭焼き体験と竹めしづくり。 など、いろいろ組み合わせれば1日過ごせる。

＜JA とさかみ＞

- ・子どもたちを対象に山の現状などを知ってもらう「ちゃぐりんフェスタ」を実施している。
- ・学校との連携では、学童農園で子どもたちに農業の体験をしてもらっているが、物部川を絡めてできればと考えている。学校の先生の中には服が汚れるから入りたくないという先生もいた。先生たちへの環境学習も必要ではないか。

＜ごみのない物部川をつくる連絡会＞

- ・久礼田小学校で物部川の水の環境学習を予定している。大篠小学校でも物部川で環境学習を実施したいが、移動にバスが必要だが市のバスが28人乗りなので、バスを借上げる必要がある。また講師代、資材について学校には予算がなく、予算面で苦慮している。

＜環境共生課＞

- ・（自分の子の事例として）4年生が年2回環境学習を実施し、そのうち1回は仁淀川への遠足の中で、事前に野中兼山の功績を学習したうえで、八田堰の見学や紙の博物館で水の大切さを学習していた。10月に実施していたが7月くらいの水遊びのシーズンに遠足に行けば、また川へいきたいといった気持ちが芽生え、夏の季節に川へ足を運ぼうとする子どもが増えるのではないか。
- ・川遊びは親の責任で子どもを連れて行き、川で遊ぶ楽しさを教える必要があると思うので、学校の参観日を利用し、親が参加できるような環境学習をしてみてもどうか。
- ・川には自分たちの知らない、楽しく遊べる場所がたくさんあるが、地元の人しか知らない場所も結構あると思う。また土日に子供をつれて川へ行く際は、どこから川へ下りれるか分かっていないと川へ行く気持ちがわいてこない。このため、水遊びができる場所の情報提供を充実させるべき。

＜高知工科大学＞

- ・地域共生概論の授業で、片地川のアシの清掃活動を予定しており協議しているが、このワーキングでの今日の意見も参考にしていきたい。

まとめ

◆環境学習の需要と供給はかなりある。

- 学校やPTAをターゲットにした、学習の企画づくりをこのワーキングで行う。
学校・PTAとつなげていき、親子が参加できる体制を築いていく。

◆環境学習がどういう形で実を結んでいるのか総括する必要がある。

- 感想文やアンケートなどをこのワーキングに持ち寄って議論してみる。

◆環境学習のイベントの実施内容・主催者等の情報が共有できていない。出前授業を申し込む際、学校はインターネットで探している。

- 環境学習の一覧表を作成する。
(事業名、内容、実施時期、場所、主催者、材料・資材、経費負担)

◆学校側としてはどういう情報がほしいのか、整理する。